

(様式1)

太田デイサービスセンター運営推進会議報告書

開催日時	令和 7年 7月30日(水) 15時40分～16時25分	
場 所	太田デイサービスセンタホール	
参加者		議 題
利用者	1名	1. 報告
利用者の家族	1名	(1) 事業所の活動報告
地域住民の代表者	2名	(2) 利用者の状況報告
郡山南部地域包括支援センター	1名	(3) ヒヤリハット・事故等報告と対応策
当センター職員	2名	(4) 地域との連携状況
		(5) 非常災害対策・BCP 訓練報告
		(6) 今後の行事・運営方針について
		2. 意見交換
会 議 録		
1. 報告 (1) 事業所の活動報告 太田デイ所長が、太田デイサービスセンターの運営方針として「つながり」と「笑顔」を大切にし、利用者一人ひとりに寄り添ったケアを提供していることを説明した。日々のレクリエーションでは、毎日異なる内容で実施しているほか、有酸素運動も取り入れている。 4月から6月に以下の行事を開催した。 ・ 4月：花見 ・ 5月：菖蒲湯 ・ 6月：音楽イベント、「ゆったりお湯時間～第二週の特別な癒し～」のプレ開催 (2) 職員体制と研修状況 職員体制は、常勤4名・非常勤6名の計10名で構成している。介護福祉士、生活相談員、看護師、調理員、運転手が連携し、サービス提供にあたっている。 研修については、以下の内容を実施した。 ・ 4月：送迎車両操作講習（生活相談員・介護職員・運転手が参加） ・ 5月：虐待防止研修、食中毒予防研修（全職員が参加） ・ 6月：入浴介助研修（生活相談員・介護職員が参加） (2) 利用者の状況報告 定員は18名。曜日別の利用者数は、月～金で平均16～18名であり、水曜日は比較的少ない傾向である。要介護度別では、地域密着型サービスに中重度の方が多く、通所型サービスでは要支援の方が中心となっている。		

会 議 録

（３）ヒヤリハット・事故等報告と対応策

令和７年４月～６月の間、ヒヤリハット・事故・苦情は発生しなかった。一方、相談は９件あり、以下のような内容に対応した。

- ・ 送迎時間の変更（２件）、送迎場所の変更（３件）、車酔いへの配慮（１件）
- ・ 利用日時の変更（２件）
- ・ 衣服に関する要望（１件）

いずれも、本人や家族の意向を踏まえ、事業所として調整・対応した。

（４）地域との連携状況

６月には語り部のボランティアを受け入れた。地域イベントへの参加は未実施だが、今後の検討課題としている。４月には職員が周辺道路のゴミ拾いを行い、地域とのつながりを意識した取り組みを進めた。

（５）非常災害対策・BCP（業務継続計画）訓練報告

５月に避難訓練を、６月に災害時連絡網訓練を実施した。今後も地域との連携を意識しながら、継続的な訓練を行っていく予定。

（６）今後の行事・運営方針について

今後は「ゆったりお湯時間」を毎月第２週に定例開催する予定。また、８月には移転新築記念として、利用者と共にケーキづくりを行う予定。

運営方針としては、穏やかで前向きな時間の提供と、地域とのつながりを重視した施設運営を進めていくことを確認した。

２．意見交換（抜粋）

- ・ 利用者代表：入浴環境に満足。趣味活動の再開を希望。
- ・ 家族代表：脳への刺激となる活動や将来的な車いす利用への不安を共有。
- ・ 地域代表：特技を持つ住民の紹介や地域活動との連携を提案。
- ・ 包括支援センター職員：太田デイの柔軟な対応が紹介のしやすさにつながると評価。
- ・ 太田デイ所長：塗り絵コンテスト出品など脳トレ活動を継続。ボランティア紹介を呼びかけた。

３．閉会の挨拶

太田デイ所長が、地域密着型通所介護事業所としての原点に立ち返り、利用者一人ひとりに穏やかで前向きな時間を提供していくこと、地域とのつながりを少しずつ広げていくことの重要性を述べた。地域住民、利用者、ご家族、包括支援センターとの協力を呼びかけ、会議を締めくくった。